



明倫

舞鶴市立明倫小学校
令和6年4月30日



大切なコミュニケーション、それは「あいさつ」

色鮮やかに咲き誇る明倫緑地のつつじの横を元気に登下校する子どもたち。もう新学年がスタートし1か月になりますが、学校生活にリズムが生まれ、子どもたちの元気な声が校内に響いています。

先日の4月27日(土)の参観日には、たくさんの保護者、地域の皆様にご来校いただきました。子どもたちはたくさんの方に見ていただくことで、緊張している様子でしたが、どの子ども先生の話もしっかり聞き、張り切って発表する姿が見えました。今年度こそは、コロナウイルス感染症やインフルエンザ等が収まり、安心してたくさんの方々にご来校いただく機会が持てることを願いたいものです。

4月8日の始業式で、私から子どもたちに頑張ってもらいたいこととしてこんな話をしました。

『一つは、これから学校生活をする中で、たくさんの嬉しいことや楽しいことがあります。

でも、困ったことや悲しいことももちろんあります。困ったとき、悲しいとき、みんなはどうしますか。また、周りで困っている人や悲しい思いをしている人がいればどうしますか。もちろんなかなかすぐには言えないこともあります。でも、担任の先生や周りの先生にまず相談しましょう。しっかり聞いてくれる先生ばかりです。また、周りで困っている人や悲しい思いをしている人がいれば、優しく声をかける人になってほしいです。』

『もう一つは、「あいさつ」です。これまでもみんなが気持ちよく学校生活が過ごせるように声をかけてきました。朝は「おはようございます」お昼は「こんにちば」帰るときは「さようなら」、それだけでなく3学期の終わりにこんな声を掛けてくれる人がたくさんいました。それは、「この1年間、ありがとうございました。」というお礼の言葉です。とっても嬉しかったです。これから、気持ちの良いあいさつや感謝の言葉がたくさん言える明倫小学校の素敵なみんなになってほしいです。』

早速、意識してか明るく笑顔であいさつをする子どもたちがいます。1年生も恥ずかしそうにはありますがあいさつをしてくれます。

あいさつは、人の印象を決める一つの要素であり、人と上手にかかわるための大切なコミュニケーションです。

「あかるく、えがおで」

「いつでも、どこでも、だれにでも」

「さきに(自分から)」

「つづけて、つなげて」

こんな気持ちで、あいさつが習慣となってほしいです。

すでにゴールデンウィークが始まっています。子どもたちには「学校のやくそく」に従って連休の過ごし方を指導していますが、ご家庭でも楽しく安全に過ごせますようお声掛けください。

地域、学校関係者の皆様には、様々な行事等を通じて子どもたちのがんばりを見ていただき、励ましていただきますようお願いいたします。また、今年度の学校の教育活動にご理解とご協力賜りますようお願いいたします。

校長 井上 啓



校門の前に咲くガーベラ

「毎朝、環境委員会の子が水やりをしています」